***ポイントをおさえ評価者が読みやすいように作成すること****。*

記入要領、記入例（青字）は削除して提出ください

*フォントは指定がない限り、MS P明朝、サイズは10.5とし、行間は固定値18とすること。*

*審査の過程において資料の追加提出等を求めることがあります。*

*提出時には公募申請書のファイル名を、「○○大学\_expertj.pdf」とすること。*

**グローバル卓越人材招へい研究大学強化事業申請書**

2025年○月○日提出

**基本情報**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 構想の題目 | | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | | |
| 申請大学名 | | ○○法人○○大学 | | |
| 事  業  統  括 | 氏名 | ○○　○○ | 職名 | ○○○○○○○○ |
| 電話番号 | ○○○○○○○○ | メールアドレス | ○○○○○○○○ |
| 所属 | ○○○○○○○○ | | |
| 研究倫理受講 | 所属機関におけるプログラムを修了　　　eAPRINを修了（ダイジェスト版含む） | | |
| 担  当  者 | 氏名 | ○○　○○ | 職名 | ○○○○○○○○ |
| 電話番号 | ○○○○○○○○ | メールアドレス | ○○○○○○○○ |
| 所属 | ○○○○○○○○ | | |
| 住所 | 〒○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○ | | |

※研究倫理教育の受講については、公募要領4.1「研究倫理教育に関するプログラムの受講・終了について」をご確認ください。上記の研究倫理教育の箇所については、該当する履修状況を黒字で残し、他を削除ください。本事業への申請のため、eAPRINダイジェスト版を修了した場合は、「eAPRINを修了（ダイジェスト版含む）」を残してください。

**１．海外若手研究者の招へい・受入れに関する大学の構想（3ページ以内）**

**1-1. 大学として強みを有し、戦略的に強化を進める研究分野における大学の研究力および国際頭脳循環の取組の現状を踏まえた上で、海外若手研究者の招へい・受入れを通じ、当該分野において国際頭脳循環を推進し、世界と伍する研究水準を有する研究大学の実現を果たすための構想について記載してください（大学の3年後（支援終了時点）、10年後の姿を見据えて、具体的な状況をイメージできるよう記載してください）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**1-2. 1-1記載の大学における研究力強化、国際頭脳循環の実現に向けて、招へい・受入れる海外若手研究者の選抜・受入れ方針（各研究分野の状況等を踏まえた上での若手研究者のリストアップの考え方、個人・チームなど招へいする単位、若手研究者・博士後期課程学生等対象ごとの招へい・受入れに向けた考え方等、特に重点化する方針があれば記載してください）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**1-3. 大学における海外若手研究者の招へい・受入れに向けた交渉のチャンネルおよびその状況（海外研究機関との連携等も含め、海外若手研究者のリストアップ・コンタクト・交渉に資するチャンネルの有無、また具体的な交渉の状況について記載してください）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**2．招へい・受入に当たっての海外若手研究者の処遇に関する大学の構想（４ページ以内）**

**2-1.　招へい・受入れを行う海外若手研究者に対する支援終了後の定着に向けたポスト等の処遇、キャリア支援の考え方、および支援終了後も処遇を継続・確保するための大学における自走化に向けた検討状況（考え方、および支援終了後の財源確保も含めた学内等の調整・合意状況について記載してください）**

*注： 本事業では、ＰＩとなりうる海外若手研究者には原則としてテニュアもしくはテニュアポストを明示した形でのテニュアトラックとすることを求めます。*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**2-2. 海外若手研究者に対する給与、博士後期課程学生に対する研究奨励費、海外若手研究者に対する研究費等に関する世界水準を基準とした処遇（具体的な額と設定に当たっての考え方、規程化も含めた学内調整・合意状況について記載してください）**

*注1:給与・研究奨励費と研究費の合計は、PIとなりうる若手研究者　3,000万円/年、優秀な博士研究員　1,500万円/年、博士後期課程学生500万円/年を目安としますが、大学において上限設定を行うことも可能です。大学自主財源の活用も含めて検討してください。*

*注2: PIとなりうる海外若手研究者個人を招へいする場合、PIとなりうる海外若手研究者を中心としたチームでの招へいを行う場合等、想定される招へいパターンを踏まえた上で、適切な額を設定して下さい。*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**2-3. 招へい・受入れを行った海外若手研究者に対する研究環境整備の方針（研究場所の確保、研究セットアップ（機器整備等）、研究体制の整備等の考え方を具体的に記載してください）**

*注1:研究セットアップに向けた機器導入等のための費用として、機関毎に支援期間を通じ5,000万円を研究環境整備費として助成します。また給与対象外の博士研究員（ポストドクター）の雇用、学生のRAとしての雇用経費については研究費から支弁可能です。大学自主財源の活用も可能です。*

*注2:PIとなりうる若手研究者個人を招へい・受入れを行う場合、PIとなりうる海外若手研究者を中心としたチームでの招へいを行う場合等、想定される招へい・受入れパターンを踏まえた上で、考え方を明記してください。*

*注3：学内の部局毎に書き分けるのではなく、部局横断的な事項としてまとめて記載してください。*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**2-4. 海外若手研究者が研究に専念するための環境・体制の整備方針（研究者からの教育研究以外の職務の減免、種々の手続きなど管理事務をサポートするためのスタッフ機能の充実、大学としての人事給与改革・業務改革等、方策を記載してください）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**2-5. 招へい・受入れに当たり、海外若手研究者やその家族に対する生活サポート措置（助成および大学自主財源を活用した生活サポートについて具体的に記載してください）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**３．大学の実施体制（事業統括、招へい・受入れ推進チーム）（４ページ以内）**

**3-1. 事業統括**

*＜評価項目：十分なマネジメント能力を有するか／国際頭脳循環を通して今まで若手研究者等の人材育成を実施した十分な実績があるか／大学は事業統括にプロジェクト遂行に十分な権限を与えているか＞*

* *事業統括について以下の事項を記入してください。*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 研究者番号 |  |
| 役職 |  | | |
| 研究概要  ・専門分野 |  | | |
| 経歴 |  | | |
| 主な業績  ・受賞歴 |  | | |
| 本事業の推進に資する活動実績 |  | | |
| 事業統括に指名した理由 |  | | |
| 経営層から委譲された権限 |  | | |

*※ 採択後の事業統括の変更は、委員会にてその妥当性を評価することとなりますので予めご承知おきください。*

**3-2.事業統括を中心とした大学の推進体制（本事業の推進に当たっての大学における意思決定、部局横断による推進体制図を記載してください）**

**3-3.本事業の推進に当たっての大学の運用（規程の整備に係る学内調整状況、事業に係る学内の意思決定状況、終了後の自立化を含めた大学自主財源の確保・体制整備等に関する学内調整状況、その他事業な柔軟な運用に向けた大学での検討状況を記載してください）**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**3-4.本事業の推進に当たって、事業実施状況を把握・評価し、PDCAサイクルを回すための大学の取組**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**3-5.招へい・受入れ推進チームの構成（2枚以内）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **氏名** | **所属部署※１** | **役職** | **本事業における役割** | **理由（業績、事業経験、専門分野等）** |
| ○○　○○ | ○○部 |  |  |  |
| ○○　○○ | △△部 |  |  |  |
| ○○　○○ | △△大学 ○○部 |  |  |  |
| ○○　○○ | □□株式会社 開発部 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

*※ 所属機関が異なる場合は、役職欄に機関名も記入してください。*

*※ 姓と名の間は半角スペースを入れてください。外国籍の関係者名はアルファベット表記としてください。*

*※ 招へいや支援に必要な事務手続きを担うバックオフィス、本事業に関連して大学で戦略策定や企画を担う理事・役員クラスやURAなどを記載してください。*

*※ 同じ部署より複数の参画が多数ある場合には、代表者（例、研究科長、研究所長、人事部長、学務課長、財務課長、研究支援課長等）を記載し、代表者の直下の行に「その他●名」と氏名欄に記載してください。（役職欄より右欄は空欄で構いません。）*

*※ 表中記入箇所のフォントは、MS P明朝、サイズは9とし、行間は固定値14とすること。*

**４．招へい・受入れる海外若手研究者の質の確保（4枚以内）**

**4-1.大学における海外若手研究者の質の評価体制・評価スキーム（大学において招へい・受入れる海外若手研究者の質の確保に向け、どのような体制で審査を行うか（評価者名簿も記載すること）、審査スキーム（受入時、及び毎年度の実績等に関する学内評価）等について記載してください**

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**4-2. 招へい・受入れるPIとなりうる海外若手研究者の判断基準（PIとなりうる海外若手研究者の評価基準および評価に当たり海外若手研究者に求める資料を示してください）**

*※ PIとなりうる海外若手研究者の判断基準例*

*・招へい・受入を行う研究者の研究構想が、当該分野において世界をリードする独創性・優位性を有しており、大学の研究力の強化に向けた戦略の実現に寄与すること*

*判断根拠*

*-海外若手研究者は研究提案書を作成。*

*・研究構想の遂行に向け、必要な活動実績及び責任能力を有していること*

*判断根拠*

*海外若手研究者が学術論文、著書、国際会議のプロシーディングス、主要な国際会議の招待講演、受賞、特許、ライセンス、起業、データセット、ソフトウェア、標準化、過去の研究代表の実績やマネジメント実績等、研究構想との関連性が高いものを優先的に記載し（10件程度）、研究構想の遂行に資する各実績の重要性がわかるように、それぞれに簡潔な説明を記載したNarrative CV*

*-Top10%論文数／割合などの研究力に関する定量的指標*

*-国際会議における基調講演・キーノート講演、受賞歴等*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**4-3. 招へい・受入れる優秀な海外博士研究員（ポスドク）の判断基準（優秀な海外博士研究員の評価基準および評価に当たり海外博士研究員に求める資料を示してください）**

*注 優秀な博士研究員の雇用を想定していない場合、本項は削除してください*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**4-4. 招へい・受入れる海外博士後期課程学生の判断基準（海外博士後期課程学生の評価基準および評価に当たり海外博士後期課程学生に求める資料を示してください）**

*注 優秀な海外博士後期課程学生の確保を想定していない場合、本項は削除してください*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**５．招へい・受入れ予定の海外若手研究者**

**5-1.具体的な海外若手研究者のリスト（1名につき1ページ以内）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **No** | **氏名** | | **現所属（国）** | | | **国籍・地域** |
| 1 | ○○ ○○ | | University of xxxxxxxxxxxxxxxxxxx （アメリカ）, Department of Engineering  Assistant Professor | | | イギリス |
| **研究テーマ・研究分野** | 人工知能学分野 | | | | |
| **所属予定研究科 専攻** | 理学研究科 計算科学専攻 | | | | |
| **招へい区分（受入れ時の処遇）** | PI若手研究者（テニュア教授）（エフォート：○％） | | | | |
| **受入れ時期** | 2025年10月 | | | | |
| **招へい・受入れ理由　（大学の研究力強化・国際頭脳循環への期待、研究成果創出への期待等）** | | | | | |
| （例）生化学分野でのトップ10％論文の成果あり。雇用条件について合意済、2025年10月より助教として着任する予定。チーム（No.1-3）で招へいする。 | | | | | |
| **大学における評価状況 （質担保のための基準、デューデリジェンス）** | | | | | |
| （例）これまで○○研究科○○教授と共同研究を行なっており、同研究室との共著論文も多数。異分野融合での研究活動は、本学でも高く評価している。 | | | | | |
| **招へい・受入れ交渉状況　　※海外機関とのクロスアポイントメントが発生する場合は、機関毎のエフォートを記載してください。** | | | | | |
| （例）招へい時の処遇について交渉しており、母国○○大学とのクロスアポイントメントでの在籍（エフォート○％）を想定している。主たる所属は本学になる予定（エフォート○％）。 | | | | | |
| **招へい・受入れ時に大学として必要となる取組 （研究環境整備、研究体制整備、生活サポート等）** | | | | | |
| （例）○○学講座を○○研究科内に新設し、研究室を立ち上げる。分析機器を研究環境整備の一環として導入する。○月より学部生、修士課程学生の配属を開始し、研究活動とともに学生の指導をスタートさせる。 | | | | | |
| **資金計画（単位：千円）** | | | | | |
|  | **2025年度** | **2026年度** | **2027年度** | **2028年度** | **合計** |
| **給与・研究奨励費** | １０，０００千円 | 2０，０００千円 | 2０，０００千円 | 11，０００千円 |  |
| **研究費** |  |  |  |  |  |
| **合計** |  |  |  |  |  |

*※1 申請時点で具体的に招へい・受入れの候補として挙がっている海外若手研究者を全員記載してください。*

*※2 招へい・受入れ予定の海外若手研究者1名あたり1ページ以内に収め、２人目以降は改ページのうえ、表全体をコピーして上書きして作成してください。*

*※3 左欄のNoは通し番号に改めてください。チームで招へい・受入れる場合は連番で記入し、何名が同じチームになるのか、中段の「招へい・受入れ理由」に追記してください（例示を参照）。*

*※4 国名や国籍は、学校基本調査の「国籍・地域コード一覧表」に準じて記載してください。*

*※5 氏名は、フルネームで記載し、姓名の間は半角スペースとしてください。外国籍の者はアルファベットで表記してください。*

*※6 「現所属（国）」は、所在国名、機関名、部署名ならびに役職を記載してください。海外機関の場合は機関名・役職名をアルファベットで表記してください。*

*※7 「招へい区分／受入れ時の処遇」には、本事業上の招へい区分として、「PI若手研究者」、「博士研究員（ポスドク）」、「博士後期課程学生」を記入し、「受入れ時の処遇」として、テニュア教授、テニュアトラック助教、特任助教など、自学内での処遇や役職名を記載してください。海外機関とのクロスアポイントメントが想定される場合は、自機関のエフォートを記載してください。*

*※8 記載した候補者全員のCV（Narrative CVが望ましい、様式は自由）を本申請書の８．（最終ページ以降）に記載してください。*

*※9ページ幅内に収めてください。改行などあれば適宜、行のサイズを調整してください。表中記入箇所のフォントは、MS P明朝、サイズは9とし、行間は固定値14とします。*

**5-2.今後の招へい・受入れ計画（研究テーマ・研究分野につき1ページ以内）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **No** |  | | | | | |
| 1 | **研究テーマ・研究分野** | 人工知能によるバイオイメージング技術の高度化と医療応用（人工知能医用応用分野） | | | | |
| **所属予定研究科 専攻** | 工学研究科 医用工学専攻 | | | | |
| **招へい区分（受入れ時の処遇）毎の人数を記載** | PI若手研究者：テニュア教授1名（エフォート：○％）、テニュアトラック准教授1名  博士研究員（ポストドクター）：テニュアトラック助教2名、特任助教2名  博士後期課程学生：●名 | | | | |
| **受入れ予定時期** | 2026年4月：テニュア教授1名、テニュアトラック准教授1名、特任助教：2名、博士後期課程学生3名  2026年10月：テニュアトラック助教2名、博士後期課程学生●名  2027年4月：博士後期課程学生●名 | | | | |
| **招へい・受入れ理由 （大学の研究力強化・国際頭脳循環への期待、研究成果創出への期待等）** | | | | | |
| （例）本学で研究分野の強みとなっている、人工知能の画像処理に関する研究成果をより強力に推進し社会実装を達成するため、研究シーズの臨床応用をターゲットとした研究拠点を2026年4月に開設する。人工知能を用いた画像解析技術の研究者1名をテニュア教授として招へいし、バイオイメージングや画像診断技術の臨床応用に知見のある研究者をテニュアトラック准教授として招へいする。また、研究活動の推進のため、同分野での研究従事経験者を特任助教助教や博士後期課程学生として受入れる。 | | | | | |
| **招へい・受入れ時に大学として必要となる取組 （研究環境整備、研究体制整備、生活サポート等）** | | | | | |
| （例）人工知能応用講座を工学研究科 医用工学専攻内に新設し、研究拠点を立ち上げる。バイオイメージングに必要な分析機器を研究環境整備の一環として導入する。2025年4月より学部生、修士課程学生の配属も開始し、研究活動とともに学生の指導をスタートさせる。 | | | | | |
| **資金計画 （単位：千円）** | | | | | |
| **（単位：千円）** | **2025年度** | **2026年度** | **2027年度** | **2028年度** | **合計** |
| **給与・研究奨励費** | 0千円 | 55,000千円 | 84,000千円 | 44,000千円 | 183，000千円 |
| **研究費** |  |  |  |  |  |
| **合計** |  |  |  |  |  |

*※1 現時点で招へい・受入れが未定である場合は、今後の招へい・受入れ計画を記載ください。研究構想に適った研究体制、研究リソースになるよう、必要十分な人材を招へいする計画を記載してください。*

*※2 研究分野・研究テーマ（研究チーム）毎に1ページ以内に収め、2件目以降は改ページのうえ、表全体をコピーして上書きして作成ください。*

*※3 左欄のNoは通し番号に改めてください。複数の部局を横断した研究チームを構築する場合は、複数の所属予定研究科 専攻を記載してください。*

*※4 「招へい区分／受入れ時の処遇」には、本事業上の招へい区分として、「PI若手研究者」、「博士研究員（ポスドク）」、「博士後期課程学生」を記入し、「受入れ時の処遇」として、テニュア教授、テニュアトラック助教、特任助教など、自学内での処遇や役職名を記載してください。海外機関とのクロスアポイントメントが想定される場合は、自機関のエフォートを記載してください。*

*※5 「受入れ予定時期」には、招へい予定者毎に、受入れ予定時期を記載してください。*

*※5 「資金計画」では本表に記載の招へい予定の者全員の金額を合算して記載してください。*

*※6ページ幅内に収めてください。改行などあれば適宜、行のサイズを調整してください。表中記入箇所のフォントは、MS P明朝、サイズは9とし、行間は固定値14とします。*

**６．研究セキュリティの確保**

申請書別紙2　「重要技術分野に係る研究セキュリティアンケート」 提出あり　提出なし

（アンケート対象とする重要技術分野）

※重要技術分野とは、「特定重要技術の研究開発の促進及びその成果の適切な活用に関する基本指針（令和４年９月30日閣議決定）」において調査研究を実施する技術領域の参考として定められた、以下の分野

バイオ技術、医療・公衆衛生技術（ゲノム学含む）、人工知能・機械学習技術、先端コンピューティング技術、マイクロプロセッサ・半導体技術、データ科学・分析・蓄積・運用技術、先端エンジニアリング・製造技術、ロボット工学、量子情報科学、先端監視・測位・センサー技術、脳コンピュータ・インターフェース技術、先端エネルギー・蓄エネルギー技術、高度情報通信・ネットワーク技術、サイバーセキュリティ技術、宇宙関連技術、海洋関連技術、輸送技術、極超音速、化学・生物・放射性物質及び核（CBRN）、先端材料科学

上記の重要技術分野について海外若手研究者の招へい・受入れを行う場合は、公募要領「2.4 研究セキュリティの確保について」をご確認の上、申請書別紙２「重要技術分野に係る研究セキュリティアンケート」にお答えください。その上で、上記の「提出あり」を残し、「提出なし」は削除してください。

上記に該当せず、申請書別紙２の提出が無い場合は、「提出なし」を残し、「提出あり」を削除してください。

**７．資金計画（助成金、大学自主財源）**

**7-1. 資金計画表**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 費目  （単位：千円） | 2025年度  2025年10月～  2026年3月  （6ヶ月） | 2026年度  2026年4月～  2027年3月  （1年間） | 2027年度  2027年4月～  2028年3月  （1年間） | 2028年度  2028年4月～  2028年9月  （6ヶ月） | 合計  2025年10月～  2028年9月  （3年間） |
| 助成 1 | 給与 | 45,000 |  |  |  |  |
| 助成 2 | 研究奨励費 | 8,000 |  |  |  |  |
| 助成 3 | 研究費 | 22,000 |  |  |  |  |
| 助成 4 | 研究環境整備費 | 30,000 |  |  |  |  |
| 助成 5 | 大学事務費 | 10,500 |  |  |  |  |
| 助成 6 | 合計 | 115,500 |  |  |  |  |
| 助成 7 | *大学事務費÷*  *助成１～4合計*  *（10％以下）* | 10％ |  |  |  |  |
| 大学  自主財源 | 支援経費  （大学負担） | 10,000 |  |  |  |  |

※金額を千円単位で記入し、小数点以下の金額は記載しないでください（たとえば1千万円の場合、10,000と記載）。少数点以下の端数を含めない計画としてください。「円」の記載は不要です。

※助成7の行は、大学事務費が、招へい・受入れに直接係る経費合計（給与、研究奨励費、研究費、研究環境整備費）の10％以下になることを確認するための欄です。例示の通り「％」（四捨五入、切り捨て等は不可、小数点以下の端数は発生させない）で記載してください。

※表中記入箇所のフォントは、MS P明朝、サイズは9とします。

**7-2. 研究環境整備費の使途**

※箇条書きで年度別に内訳を記載してください。

**7-3. 大学事務費の使途**

※箇条書きで年度別に内訳を記載してください。

**7-４. 大学支援経費の使途**

※箇条書きで年度別に内訳を記載してください。

**８．（別添参考）具体的な招へい・受入れ予定がある海外若手研究者のCV（Narrative CVが望ましい）候補者の番号など、5-1.と整合性を持たせてください。1名あたり1ページ以内に収めてください。**

**候補者No.1：氏名**○○ ○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**候補者No.2：氏名**○○ ○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。